学習院大学新聞

発行所
学習院大学新聞社
東京都豊島区目白
1丁目5番1号
電話（3986）0221内線2607
編集・発行人　片山　慶隆
年間300円

# 四大戦特集号

# V17・連勝守り抜く

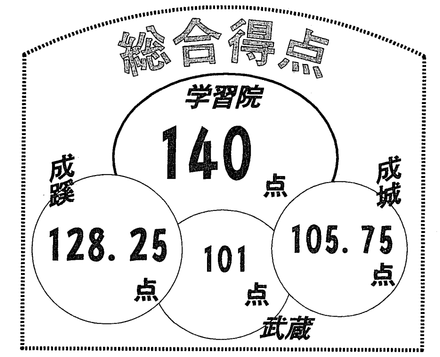
## 「花形」駅伝ふるわず

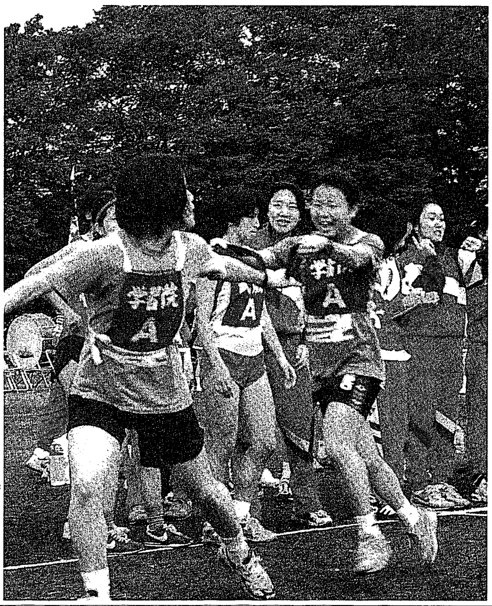
## 通算37回目

二月の男女スキーから始まった、第四十七回四大学運動競技大会（通称、四大戦）。学習院大学は女子バスケット部、女子ラクロスなどが、それぞれの四大戦で優勝を飾る。それにより、十月十八日から二十日にかけて、武蔵大学で行われた四大戦に弾みがついた。

武蔵大学での四大戦は、正式種目、一般種目、オープン種目の演武会に分けられる。正式種目で本学は、卓球、柔道の活躍もあって、一〇九点を獲得。一般種目は三一点と、第3位であったが、総合で、一四〇点とする。成城、成蹊、武蔵の三大学に大差をつけ十七連覇を達成した。

（一面に、四大戦におけるデータ、二面に、正式種目、一般種目の得点表と、四大戦の総括を掲載）





見事に三人抜きを成し遂げ、笑顔で第三走者にたすきを手渡す中村選手

## 正式　駅伝　総合　男3位　女2位

二十日に行われた駅伝は、二年ぶりの男女アベック優勝が期待された。だが結果は女子Aチームのみが優勝し、女子総合2位。一方、男子は力走したものの、力及ばず、総合3位に終わった。総合順位で男女とも昨年と同じ結果となり、今後に課題を残したといえる。

### 女子ハイライト

総合1位を目標に挙げつつも、チームとしての1位がほしかった学習院女子。あえてAチームに好タイムの選手をそろえ、今大会に臨んだ。

Aチームは序盤出遅れ、4位。しかし、例年快走を見せる第二走者の中村真理子選手（政四）が一気に三人を追い抜き、1位におどり出た。中村選手の区間タイムは11分5秒6と今大会女子1位の記録である。

第三走者が終盤で成蹊大Bチームに追い抜かれたが、第四走者の土方真美選手（法四）が抜き返した。土方選手は終始軽快な走りでリードを広げ、Aチームは2位の武蔵大Aチームに1分以上の差をつけ、堂々の1位を成し遂げた。

Bチームは6位でスタート。中盤も成蹊大、武蔵大のA、B両チームとの上位争いに入れず、同順位のままゴール。A、B両チームのタイムの合計は武蔵大に50秒及ばず、女子は総合2位に終わった。

中村真理子選手

走れば必ずトップに立つ中村真理子選手。女子では唯一、スキー部以外からの選出ながら、もはや駅伝には欠かせない人物だ。中・高・大と水泳部の彼女が、「たまたま誘われて」参加した駅伝も、三年目の今年が最後。「気持ちよく走れました」と自分の走りを振り返った。

とにかく「走るのが好き」と笑う中村選手。これからは、もっと長い距離、フルマラソンにも挑戦したいとか。

### 男子ハイライト

駅伝男子は、Aチーム4位、Bチーム6位。総合タイムで2位の武蔵大に3分以上の差をつけられ、総合順位は昨年に引き続き3位と厳しい結果に終わった。

Aチームは、期待された陸上部出身の第一、二走者が伸び悩み、下位に低迷。しかし、第四走者で三年連続出場となる小林昌人選手（済三）が武蔵大Bチームとの競り合いに勝ち4位を獲得。唯一、終盤で健闘を見せた。

一方、Bチームはレース序盤から5～6位にとどまり、上位との争いに加わることができなかった。

駅伝は、男子が約5・2km×4区、女子が約2・7km×4区をそれぞれ走行し、四大学のそれぞれAB二チームのタイムを合計した総合タイムで勝敗を競う。この種目は一般種目と同じ参加資格だが、正式種目として行われる。

### 抜本的な改革を今

四大戦の総決算ともいえる駅伝。各大学の応援も最も盛り上がるこの競技で、学習院大は男女とも優勝を逃した。これで二年連続、他大の躍進を許した形となる。選手をはじめ関係者は懸命に努力したが、結果には結び付かなかった。来年優勝するためには何が必要なのか。

#### 「質」の高い練習を

駅伝という競技では、タイムの速さだけでなく、作戦・かけひきといった要素が重要である。

今回、学習院女子Aは、速い選手を2・4区におく作戦がみごとに的中し、トップでゴールした。

しかし、陸上部出身の選手二人を1・2区にして逃げ切りを図った男子Aは4位。1区の走者は一時トップに立つも、5位に後退。結局、男子Aの最高タイムは4区の走者が記録した。選手には各々タイプがあるので、それにあった位置、作戦が与えられねば、実力を出しきるのは難しい。そして、そのタイプを知るには、各チームごとでの練習が不可欠だが、残念ながらそれがなかった。個々人ではよく走り込んで実力をつけたが、チームとしての練習があれば、総合力が増したのではないか。

#### 「オール学習院」の結成

駅伝は、例年選考会が開かれているものの、一般参加はあまりない。陸上経験者、他の運動部員への呼びかけも、断られることが多いという。よって慣例的に、スキー部を中心とした選手が毎年出場している。スキー部中心という点では、他大もそう変わりない。しかし、ここ数年、成蹊大では有志の手によって積極的に一般選手が集められ、それが結果に結び付いている。本学としても、その姿勢は学ぶべきだろう。駅伝強化のための予算を充分確保し、ポスター、ビラなど大規模なPRをするのも一つの手だろう。また、体育科の協力を得るなどして、気軽に走れる機会を作れば、逸材の発掘、PRにも役立つかもしれない。

かなりの努力は必要だが、隠れた人材たちが加入した「オール学習院」、最も強いチームの活躍が、四大戦を盛り上げるのは間違いない。

### 歴代優勝大学一覧

| | | |
|---|---|---|
| 第1回　成蹊大 | 第17回　学習院大 | 第33回　学習院大 |
| 第2回　学習院大 | 第18回　成蹊大 | 第34回　学習院大 |
| 第3回　学習院大 | 第19回　成蹊大 | 第35回　学習院大 |
| 第4回　学習院大 | 第20回　学習院大 | 第36回　学習院大 |
| 第5回　学習院大 | 第21回　学習院大 | 第37回　学習院大 |
| 第6回　学習院大 | 第22回　成蹊大 | 第38回　学習院大 |
| 第7回　学習院大 | 第23回　成蹊大 | 第39回　学習院大 |
| 第8回　学習院大 | 第24回　学習大 | 第40回　学習院大 |
| 第9回　学習院大 | 第25回　学習院大 | 第41回　学習院大 |
| 第10回　学習院大 | 第26回　成蹊大 | 第42回　学習院大 |
| 第11回　成城大 | 第27回　学習院大 | 第43回　学習院大 |
| 第12回　成蹊大 | 第28回　学習院大 | 第44回　学習院大 |
| 第13回　学習院大 | 第29回　学習院大 | 第45回　学習院大 |
| 第14回　学習院大 | 第30回　成蹊大 | 第46回　学習院大 |
| 第15回　学習院大 | 第31回　学習院大 | 第47回　学習院大 |
| 第16回　成蹊大 | 第32回　学習院大 | |

学習院大学は、四大戦総合優勝の連続記録をこれで〝17〟に伸ばした。連覇が始まったのは、今回と同じ武蔵大学が開催校だった第31回大会（昭和五十五年）から。四大学の開催校持ち回りの制度下にあって、今回の優勝は、五周期目に入ったことを意味する。

過去四十七大会中、三十七回優勝と圧倒的な強さを見せる本学の成績を、開催校別に見ると地元開催は12戦11勝と優勝確率が9割を超えている。武蔵大学が開催校の際の戦績は、十二大会で、V逸が三度。いずれも2位となっている。中でも、第11回大会では、十連覇を逃し、成城大学にとって初めてとなる優勝をさらわれた場でもある。

さらなる連覇に向ける課題は、今年度、昨年と比べて10点減となった正式種目。他大にとっては、九月まで学習院に引き離されない点がカギとなりそうだ。

### 開催された学校別にみる本学の優勝回数

| 開催校 | 開催回数 | 優勝 | 2位 | 3位 | 4位 | 勝率 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 学習院 | 12 | 11 | 1 | 0 | 0 | 0.917 |
| 成蹊 | 12 | 8 | 4 | 0 | 0 | 0.667 |
| 武蔵 | 12 | 9 | 3 | 0 | 0 | 0.750 |
| 成城 | 11 | 9 | 1 | 1 | 0 | 0.818 |
| 総合成績 | | 37 | 9 | 1 | 0 | 0.787 |

## 正式　柔道　男子優勝

柔道の試合は、十月二十日柔道場にて行われた。学習院大柔道部は、貫録の六連覇を成し遂げた。

試合は四大学の総当たり戦形式で行われる。学習院大の初戦は成蹊大。昨年同様苦戦が予想されたが、五勝二敗一分けと、無難に乗り切った。二試合目は、成城大と対戦。絞め技、背負い、払い腰、横四方固めと、次々に一本勝ちを収め、一分けを除き全て一本勝ちで圧勝した。三試合目の武蔵大戦でも学習院大の調子が衰えることはなかった。大嶺聖敦選手（法四）の鮮やかな背負い投げ、芸術的とも言える井上拓広選手（営三）の払い腰など、見ごたえのある試合展開で八勝一分けと快勝した。

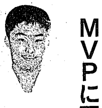
試合全体を振り返ってみると学習院大の通算成績は二十七試合中、十六試合の一本勝ちを含む二十一勝二敗四分けと他を寄せ付けない圧倒的な強さを誇った。

試合の内容も充実したもので、学習院大の選手だけで十五種類もの技を繰り出し、見ていても全く退屈しない戦いぶりであった。

昨年の最優秀選手でもある主将の井上選手は次のように語る。「今回の優勝は、日頃の練習の成果が表れたもの。今までの五連覇がプレッシャーだったが、今回優勝したことで正直言ってホッとした。三年生以下はまだまだ未完成な部分が多いので、これからも努力したい」。

なお、最優秀選手には石橋大輔選手が選ばれた。

### MVPに石橋選手



今大会の最優秀選手は本学法学科四年の石橋大輔選手が選ばれた。石橋選手の成績は、三戦全勝。対成蹊戦では開始十秒で内肢一本。二試合目の対成城戦でも開始一分に、背負いで技あり、内肢で一本。三試合目の対武蔵戦では、決め技は出なかったものの相手が警告を取られ接戦を制した。試合後のインタビューで石橋選手は、「今回で四大戦への出場が最後となるので、悔いが残らないように、精一杯やりたかった」と語ってくれた。彼の黒帯は擦れて白くなっていた。四年の貫録である。

また、優秀選手には堀米研道選手（政二）が選ばれた。成績は一本勝ち二本を含む三戦全勝。堀米選手は、「三勝できて良かった」と言葉少なげに語ってくれた。男は背中で語るもの。今後もあの背中で我々の期待に応えて欲しい。

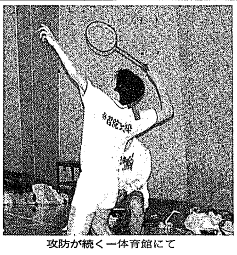
## 正式　バドミントン　男3位　女2位

バドミントンは十月十八、十九日の二日間、大学体育館で行われた。男子は3ダブルス4シングルス、女子は2ダブルス3シングルスの団体戦で争われる。

学習院大は男子が3位。女子は武蔵大、成城大に連勝して迎えた成蹊大との全勝対決に惜敗して2位。男女とも昨年と同順位だった。

男子は、本学（リーグ4部）にとっては格下となる成城大（同5部）に、トータル3－4で競り負けたのが響き、二年ぶりの2位浮上はならなかった。しかし、個人では主将を務める松岡悦郎選手（済三）が奮闘。各大学戦ともシングルス、ダブルスの両方に出場し、通算で6戦して5勝を挙げた。

トータルで2－5と完敗した成蹊大とのシングルス戦でも、既にチームの敗戦が確定した後ながら、気迫あふれるネットプレーで相手を圧倒し、ストレート勝ち。「相手が攻めてこなかったのでこちらからいくチャンスだと思った」と松岡選手は振り返る。格上の成蹊大（同3部）戦でのチームの敗戦については、「（学習院大の）強い選手を相手の強豪にぶつけられなかった」と組み合わせに恵まれなかったことも挙げていた。


攻防が続く＝体育館にて

## 正式　卓球　男女優勝

学習院同士の決勝対決＝学生会館卓球場にて

十月十八、十九日、学生会館五階の卓球場において、卓球の試合が行われた。学習院大学は、男子女子共に団体戦・個人戦で優勝。男女そろっての優勝は、二年連続となる。

十八日に行われた男女別団体戦。男子は成城戦で3勝2敗と苦戦したが、武蔵・成蹊戦は快勝した。一方の女子も、初戦の成城戦から危なげのない勝ち方で優勝を決めた。

十九日の個人戦は、男女共に本学の選手同士の決勝戦となった。男子は、小野敦史選手（営三）と山下貴史選手（政三）の試合となり、小野選手が勝利を収める。女子では、一井（いちい）彩子選手（営一）が、接戦の末、田村麻里絵選手（営三）を破った。

### 小野・一井選手が三冠王

今回も、本学の圧勝で幕を閉じた。その中で、特に小野選手は団体・個人に加え、十月十日に行われたダブルスの三種目を制覇し、二年連続の三冠王となった。一井選手も初出場ながら堂々の三冠王に輝いた。一井選手は、中学時代にダブルスで全国三位の実績を持っており、今後の活躍が期待される。

四大戦の卓球は、団体戦の結果のみが得点となる。団体戦の男女のアベック優勝について、小野選手は「一人一人の努力のたまものです」と語った。また「来年は、三年連続の三冠王をとります」と力強く宣言した。

## オープン　演武会

十月十八日、武蔵大学バスケットコートにおいて、少林寺拳法部・合気道部・空手道部の演武会が行われた。少林寺拳法部は、気迫あふれる試合を展開し、合気道部は、優雅な動きで多彩な技をくりひろげた。また、空手道部は、「瓦五枚火炎割り」をはじめとする、さまざまな技を披露した。

### 少林寺拳法

少林寺拳法部による演武会では、四大学が技をそれぞれ披露する「演武」と、試合形式での「乱捕り」が行われた。

「乱捕り」は、各大学から五人ずつ選手が出場。学習院大学は、成蹊大・武蔵大と対戦した。成蹊大戦では、先鋒から三人がたて続けに勝利を収め、武蔵大戦では、五戦全勝という好成績だった。しかし主将の山崎隆弘選手（政三）の評価は「ふらつきが見られるなど、技術不足が目立つ。もっと練習を重ねる必要がある」と厳しかった。

### 合気道

学習院の演武は一年生による「稽古風景」から始まる。総勢十二人が、普段の練習風景を再現する。

次に行われた「基本技」と「自由技」では、小柄な女性が涼しい顔で男性を投げていく場面などがあり、圧巻であった。

とりを務めるのは「多人数」。川崎正主将（英三）によって、かかってきた三人の部員たちが、弧を描いて畳の上に次々打ちつけられていく。その様子はむしろ優雅で、「円の動きを大切にする」という合気道の精神をまさに体現していたと言えよう。

闘志交わす瞬間＝少林寺拳法

### 空手道

空手道の演武には、声援が激しく飛び交う少林寺拳法や合気道とはひと味異なる静の空気が流れている。それだけに選手のかけ声や畳を擦る音が大きく響き渡り、観客の目も選手一点に注がれるようだ。

学習院大学の空手道には名物である瓦五枚火炎割りがある。今回それに挑戦した加藤学選手（済一）は、初めての四大戦にもかかわらず、見事に一発で瓦五枚を打ち砕いた。終了後も「普段と変わらず落ち着いてできた」と余裕の表情。そこには、日頃の練習の積み重ねからくる自信があったようだ。

白熱の瓦五枚火炎割り＝空手道

## 競技ごとに偏り

四大戦の一般種目には、各大学の学内大会で上位進出した一般学生やサークルが出場する。しかし、四大戦当日に、各種の一般種目で試合会場に姿を見せない「棄権」チームが続出し、不戦勝・不戦敗の文字が、トーナメント表を埋めて行く光景もめずらしくはない。

左表は、一昨年の学習院大学で開かれた第45回四大戦と、今回の第47回大会における一般種目の棄権チーム数を、大学別、競技種目別にまとめたものである。（集計は本紙）

### 各大学の種目別・一般種目棄権チーム数

1994年　第45回大会　開催校：学習院

| | 学習院 | 成蹊 | 武蔵 | 成城 |
|---|---|---|---|---|
| 卓球 | － | － | － | 3 |
| 硬式庭球 | － | － | － | 4 |
| 軟式庭球 | 1 | 2 | － | 3 |
| バドミントン | － | － | － | 2 |
| その他 | － | － | － | － |

1996年　第47回大会　開催校：武蔵

| | 学習院 | 成蹊 | 武蔵 | 成城 |
|---|---|---|---|---|
| 卓球 | 1 | 1 | － | 3 |
| 硬式庭球 | 1 | － | － | 3 |
| 軟式庭球 | 5 | － | － | 1 |
| バドミントン | － | － | － | － |
| その他 | － | 3 | 1 | 3 |

## 減らぬ棄権数

棄権チームは例年、庭球・卓球等の個人スポーツに集中している。一方で、野球・バレーボールなどは、各大学ともサークルの一大行事として四大戦が存在するので、棄権は皆無に近い。

また、開催校は、棄権数が少ないというデータもある。本学でも二年前の地元開催での棄権数は、わずか「1」。今年は「7」である。ほかの大学でも同様の傾向は見られるという。やはり「来やすい」という意識も、大会会場に足を運ばせるきっかけとなるようだ。

# バレーボール
## 女子Bチーム優勝

十月十八、十九、二十日の三日間、高中、大学体育館に於て試合が行われ、学習院大女子B（一回戦）が優勝、男子Bが準優勝し、本学がバレーボール総合優勝を決めた。

女子Bは決勝戦で成蹊Aを相手に、結果的には2-0ストレート勝ちだが、一セットを15-3でとった後の第二セットは17-15と苦戦している。第二セットは得点が互いに10点台に乗った競り合いの時に、エースにボールがまわらなかったが、ここぞという時に粘りつづけていくきには、粘りがついていた。点差が広くないでいたセッターと対角レフトによるスパイク防いだり、次々と攻め込んでいく。そして成蹊を相手に、タイムイミングをわせた一枚ブロックを実践したりしていく。攻撃面では、基本アタッカーも加に貢献していたものの決定打にはほどなかった。全体を通しての一

確実にトスをあげるセッター＝高中体育館にて

で攻撃していく。そして成蹊リードの14-15時、「応援に出せた」というエースに決めてデュースとし、その勢いで見事勝戦をものにした。

一方、男子Bの決勝戦は第一セットが9-15、第二セットは6-15という試合結果であった。小川新太郎体育館でバドミントンの試合が行われ、男子ダブルスの準決勝、学習院A対Bの決勝戦、女子ダブルスは二年連続優勝という成績を収めた。男子ダブルスの森下由紀子・西野由美子（数三）組は準決勝の成蹊大戦で、堅さがとれずに1-2と辛勝、決勝の武蔵大戦では2-1で勝利。武蔵Bとの決勝では小さなミスが目立ち、0-2とストレート負けした。「試合後、負けたけれど、良い試合ができて楽しかった。来年もやりたい」と両選手は語った。

# バドミントン
## 森下・西野組優勝

十月十九、二十日に大学一、二、二号館にて行われた。

一方、男子ダブルスの決勝は、成城Aとの対戦。前に攻め込んでいく、という持ち前の攻撃力を生かし4-0で快勝する。初戦と第二試合の勝因は、左サイドからの攻めが有効であったことと、先制点を入れ、勢いにのれたことが挙げられる。

# サッカー
## Aチーム準優勝

十月十八、十九日に、サッカーの試合がサッカーグラウンドにて行われた。

学習院A（ゴールデンエイト）は初戦、成蹊Aを3-0で下し順調な滑り出しをみせる。

準決勝となった第二試合は、成城Aとの対戦。前に攻め込んでいく、という持ち前の攻撃力を生かし4-0で快勝する。初戦と第二試合の勝因は、左サイドからの攻めが有効であったことと、先制点を入れ、勢いにのれたことが挙げられる。

決勝戦の相手は初戦で昨年準優勝の学習院B（CクリスマスB）を破った成城B、開始早々から緊迫した試合となる。学習院は相手の猛攻に苦戦。攻撃パターンである両サイドからのえぐるようなプレーに出てしまい、主導権を奪われる。そして、前半15分、成城BにFKで先制点を入れられる。その直後、キャプテンの林輔選手（法三）が絶妙なパスを内藤和彦選手（法一）に送り、成城のファールを誘う。そこで迎えたFK。これを林選手が1-1で準優勝となった。

後半は、同点に追いつかれないでいる。積極的に攻撃に仕掛けるが、成城Bの厚い守備にはばまれてしまい、得点に結びつけることが出来ない。後半10分過ぎ、成蹊Bのカウンターを許してからは失点を重ね、結局4-1で準優勝となった。

学習院A-1-0成蹊B（得点者）土屋2、中西（得点者）内藤、和田、椋木、土屋

学習院A-1-0成蹊A（得点者）林

学習院A-1-4成蹊B（得点者）林

ディフェンスをかわす林選手
＝サッカーグラウンドにて

# 卓球
## 市沢選手三連覇

十月二十日、一般種目の卓球が、卓球場にて行われた。学習院大の選手の一・二回戦敗退が続く中で、男子シングルスの学習院A・市沢拓也選手（法三）は人気を吐き、この種目三連覇を達成した。体調も良く、自分の力を出せた」と言う市沢選手、一セットも落とすことなく優勝を決めた。

決勝戦は、一昨年の四大（武蔵B）との戦い。その後も、選手・応援者ともに和やかな雰囲気の下で試合は行われた。だがそれとは裏腹に、開始早々、市沢選手の鋭いバックのスマッシュが炸裂。これで一気に精神的にプレッシャーを与えられた」との言葉通り、この一打が試合の流れを決めた。

「プレーは粗いが、スピードはある」と自分自身のプレーを分析する市沢選手。得意のバックでコースを突き、相手を翻弄。時に笑顔を見せながらのプレー

# ソフトボール
## 男子Aチーム準優勝

十月十九日、駒沢グラウンドで行われたソフトボール学習院大は女子が優勝、男子Aが準優勝という好成績を残した。

男子A1回戦で成城Aを7-0と一蹴。その後も二回戦で成蹊Bを6-3、準決勝で一橋大を破り、決勝へ進む。相手は前年度の王者成蹊。試合は終始成城リードで進むが、5点差で迎えた最終回、1死満塁のチャンスをつかむ。ここで打席に入った主将・市沢選手が、2点を叩き出す。2点を守り切り、最後の五回の裏へ。

結局、7-13で成蹊に一歩及ばず、「四大戦がここまで盛り上がっているとは思わなかった。本気にここに来られて良かった」という工藤選手、ナインの表情は晴れ晴れしていた。

学習院大のチームは体育履修者からの選抜メンバーで構成された。いずれは「即席」のチーム。工藤洋指導選手（ひろちか・営二）による、全員が集まったのは「四人の二・三日前」だったという。

だが、その場面で「即席」だった他、都井雅治（営二）・井出雄一（法二）組など位にくいんだ。また、女子ダブルスでは、大久保玲奈・仏ブルスでは、大久保玲奈・仏（法一）、米谷春香（営一）組も3位に入った。

軟式野球　男子・女子・混合すべてで準決勝へ進出。

# 応援としての音楽
## 応援団吹奏楽部

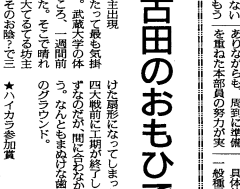
心を落ち着かせる音楽。人を楽しくさせる音楽。このように音楽の作用は様々だが、四大戦では、人を励ます、勇気づける“応援”としての音楽が会場に優美に響く。そんな音楽にエールを送っているのが、応援団吹奏楽部である。

彼らは、それこそ一生懸命にエールを送っているが、何故か情熱に恵まれないっうちが応援に行った試合は何故か大差で負けるんですよ」と部長の細谷陽介さん（法四）は嘆しそうに笑う。今回吹奏楽部が応援に行った、一般種目の男子ソフトボールは一試合とも6点差以上の大敗、同じく一般種目軟式野球の二試合も共に5点差で敗退、メインの駅伝も、

青空の下、響き渡る

だが、四大戦では、人を励ます、勇気づける“応援”としての音楽が会場に優美に響く。そんな音楽にエールを送っているのが、応援団吹奏楽部である。

彼らは、それこそ一生懸命にエールを送っているが、何故か情熱に恵まれないっうちが応援に行った試合は何故か大差で負けるんですよ」と部長の細谷陽介さん（法四）は嘆しそうに笑う。今回吹奏楽部が応援に行った、一般種目の男子ソフトボールは一試合とも6点差以上の大敗、同じく一般種目軟式野球の二試合も共に5点差で敗退、メインの駅伝も、


青空の下、響き渡る

細谷さんは言う。「たかが応援だけど自分の好きな音楽演奏が、応援として役に立つのは嬉しい」

聴かせる音楽と応援のための音楽を弁別つくる。毎日を狂わんな場に来るため精一杯心をこめて演奏する。

そんな演奏の裏には様々な苦労がある。長時間楽器を吹いていると腕は疲れてくるし、唇も荒れてくる。もちろん暑さ寒さも大変な作業だ。

だが、だからこそ彼らは精一杯心をこめて演奏する。

試合に勝敗はつきもの。必ずどちらかが勝ち、どちらかが負ける。しかし、たとえ負けていても、いや、負けているときこそ、選手に勇気を与え、その場の雰囲気を盛り上げることが必要なのだ。

女子は結合5位。男子は3位。彼らは何とも複雑な気持ちに違いない。

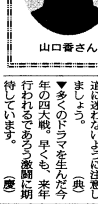
「応援の関係者だけでも相当数来ていたはずなのに、四大戦だった。今回の四大戦は「成功」だった。会場が朝霞と江古田の二カ所に分かれ、所にわかりながらも、周到に準備を重ねた本部員の努力が実を結んだ大会だった。

「成功の次の段階へ

三日間の大会運営そのものは、かなりスムーズに行ったと言える。これら変化の実質的効果は、現時点では明確ではないが、これを機に、今回の準備が始まる。そして、その次、第四十七回四大戦の当番校は学習院大学である。

（前田晋平）

一般種目の成績と位置づけ


山口香さん

# 1996 江古田のおもひで

★巨大である初主出現

四大戦開催にあたって最も頭かりなのは初正気。武蔵大学の体育連盟が調べたところ、一週間前の予報では雨だったが、そこで晴れることを祈って巨大である。

★ゆるやかな野球

校舎側面の野球場のちょうど野球場のライトの一角まで参加費にも流行が取り入れられ

★イカおる参加賞

従来のボールペンと違って、今年の参加賞はミニウッドボールのミネラルウォーター。千六百八十本を出場選手に配った。ラベルのデザインは武蔵大生の人が考えたそうで、とても好評だったという。

★取材と撮影の楽しさ、厳しさを少し実感。手応えを頂きました。（梅）

▼武蔵大学へ行くときは、道に迷わないように注意しましょう。（典）

▼多くのドラマを生んだ今年の四大戦、早くも、来年行われるである激闘に期待しています。（慶）

▼日常とは区別された三日間、普段はなんて緊張感がないのだろう。（遠）

▼勝っても負けても正々堂々。スポーツマンシップを実感できた。（二）

▼一番印象に残ったのは応援団。勇ましい声援を送る姿に感動。（西）

▼取材と撮影の楽しさ、厳しさを少し実感。手応えを頂きました。（梅）

▼事前と共に楽しめた三日間、素晴らしい試合を堪能できた。（越）

▼喜び悲しみ、応援も本気だった。その一体感感動した四大戦の三日間だった。（慶）

▼先輩には絶対服従、本当のスポーツマンシップを学ぼう。（歩）

▼秋晴れの空の下、一生懸命に走る姿が輝いていました。（里）

▼選手同様、応援も本気だった。その一体感感動した四大戦の三日間だった。（越）

▼先輩には絶対服従、本当のスポーツマンシップを学ぼう。（歩）

▼秋晴れの空の下、一生懸命に走る姿が輝いていました。（里）

▼選手と共に楽しめた三日間、素晴らしい試合を堪能できた。（越）

▼喜び悲しみ、応援も本気だった。その一体感感動した四大戦の三日間だった。（慶）

▼取材と撮影の楽しさ、厳しさを少し実感。手応えを頂きました。（梅）

▼多くのドラマを生んだ今年の四大戦、早くも、来年行われるである激闘に期待しています。（慶）

▼日常とは区別された三日間、普段はなんて緊張感がないのだろう。（遠）

▼勝っても負けても正々堂々。スポーツマンシップを実感できた。（二）

▼一番印象に残ったのは応援団。勇ましい声援を送る姿に感動。（西）

▼取材と撮影の楽しさ、厳しさを少し実感。手応えを頂きました。（梅）

▼武蔵大学へ行くときは、道に迷わないように注意しましょう。（典）

▼多くのドラマを生んだ今年の四大戦、早くも、来年行われるである激闘に期待しています。（慶）

# 四大戦総括

心配されていた天候もなんともち、四十七回目の四大戦も、三日間の日程を無事終了した。今年も学習院大は優勝を逃したが、これで十七年連続、そのことを含め良くも悪くも「いつもの」四大戦だった。

## 「四大戦へ行こう！」

今年の四大戦のスローガンは「四大戦へ行こう！」だが、この四大戦開催当初からの課題は、今年も実現されたとは言い難い。

一般種目では、例年に比べても不戦敗が多い（大会運営委員長・板橋学生）ことや、大学側と学生側との意思疎通がうまくいっていないこと、会場が遠いことなどが挙げられた。

「四大戦の大会運営そのものは、かなりスムーズに行ったと言える。これら変化の実質的効果は、現時点では明確ではないが、これを機に、今回の準備が始まる。そして、その次、第四十七回四大戦の当番校は学習院大学である。

（前田晋平）

## 一般種目の成績と位置づけ

| 大学 / 種目 | 学習院 今年度 | 学習院 前年度 | 成蹊 今年度 | 成蹊 前年度 | 武蔵 今年度 | 武蔵 前年度 | 成城 今年度 | 成城 前年度 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| アメフト | 2 | 4 | 1 | 4 | 2.5 | 3 | 1 | 2 |
| 陸上競技 | 3 | 3 | 2.5 | 2 | 3 | 3 | 2.5 | 1 |
| ラグビー | 2.5 | 4 | 2 | 3 | 3 | 1 | 3 | 2 |
| 卓球・男女一 | 4 | 4 | 2 | 3 | 3 | 1 | 4 | 4 |
| 卓球・サッカー | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 |
| 硬庭球・男 | 2.5 | 3 | 3 | 4 | 3 | 3 | 2.5 | 2 |
| 硬庭球・女 | 3 | 4 | 4 | 3 | 4 | 3 | 2 | 3 |
| 柔道 | 4 | 4 | 4 | 4 | 3 | 3 | 2 | 2 |
| 剣道 | 4 | 4 | 4 | 4 | 3 | 3 | 2 | 2 |
| 剣洋弓 | 4 | 4 | 3 | 4 | 3 | 3 | 2 | 2 |
| 洋弓・男 | 4 | 4 | 3 | 4 | 3 | 3 | 2 | 2 |
| 排球・男 | 3 | 1 | 3 | 2 | 3 | 2 | 2 | 2 |
| 排球・女 | 3 | 2 | 3 | 2 | 3 | 2 | 2 | 2 |
| 駅伝 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 |
| 駅伝・女 | 3 | 2 | 3 | 2 | 3 | 2 | 2 | 2 |
| バドミントン・男 | 3 | 2 | 3 | 3 | 3 | 2 | 2 | 2 |
| バドミントン・女 | 3 | 2 | 3 | 3 | 3 | 2 | 2 | 2 |
| 硬式野球 | 3 | 4 | 3 | 3 | 4 | 4 | 3 | 3 |
| ゴルフ | 3 | 4 | 3 | 4 | 4 | 4 | 3 | 3 |
| 籠球・男 | 3 | 4 | 2 | 4 | 4 | 3 | 2 | 2 |
| 籠球・女 | 3 | 4 | 2 | 4 | 4 | 3 | 2 | 2 |
| 水泳・男 | 4 | 4 | 3 | 4 | 4 | 4 | 3 | 3 |
| 水泳・女 | 4 | 4 | 3 | 4 | 4 | 4 | 3 | 3 |
| スキー・男 | 4 | 3 | 4 | 3 | 4 | 4 | 3 | 3 |
| スキー・女 | 4 | 3 | 4 | 3 | 4 | 4 | 3 | 3 |
| ヨット | 4 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 3 | 4 |
| フェンシング | 2.5 | 2 | 2 | 2 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 |
| アイスホッケー | 2.5 | 2 | 2.5 | 2 | 2.5 | 1.5 | 1.5 | 2 |
| グランドホッケー | 2.5 | 2 | 1.5 | 1.5 | 2 | 1.5 | 1.5 | 2.5 |
| 弓道・男 | 2.5 | 1.5 | 1.5 | 2.5 | 2 | 2 | 2 | 2 |
| 弓道・女 | 2.5 | 1.5 | 2 | 2 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 2 |
| ボート | 2.5 | 2 | 2.5 | 2.5 | 1.5 | 1.5 | 2 | 2.5 |
| 馬術 | 2.5 | 2 | 2.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 2 |
| フィギュア | 2.5 | 2 | 1.5 | 1.5 | 1 | 3 | 2 | 2 |
| 自動車 | 2.5 | 2 | 4 | 4 | 3 | 3 | 2 | 2 |
| ラクロス・女 | 2 | 4 | 4 | 2 | 2 | 2 | 4 | 4 |
| 合計 | 109 | 119 | 94.5 | 95.5 | 66 | 70.5 | 80.5 | 73 |

### 表の見方

各種目、1位：4点、2位：3点、3位：2点、4位：1点
1位が2校の場合は各3.5点、3校の場合は各3点
2位が2校の場合は各2.5点、3校の場合は各2点
3位が2校の場合は各1.5点が加算される。
三大戦の場合は1位：2.5点、2位：2点、3位：1.5点、
不参加：1.5点、棄権：0点となる。

## 一般種目得点表

| 大学 / 種目 | 学習院 今年度 | 成蹊 今年度 | 武蔵 今年度 | 成城 今年度 |
|---|---|---|---|---|
| バドミントン・男 | 2 | 1.25 | 2.5 | 1.25 |
| バドミントン・女 | 2.5 | 1.5 | 2 | 1 |
| 排球・男 | 2 | 2 | 1.5 | 1 |
| 排球・女 | 2.5 | 2 | 1.5 | 1 |
| 卓球・男 | 1.5 | 2.5 | 2.5 | 1 |
| 卓球・女 | 1.25 | 2 | 2.5 | 1.25 |
| 籠球・男 | 2 | 2.5 | 2.5 | 0 |
| 籠球・女 | 2.5 | 2 | 1.5 | 1.5 |
| ソフト・男 | 2 | 1.5 | 1.5 | 2.5 |
| ソフト・女 | 2.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 |
| 軟式庭球・男 | 1.25 | 2 | 1.5 | 1.25 |
| 軟式庭球・女 | 2 | 2.5 | 2 | 1.5 |
| 軟式野球 | 1 | 2 | 2 | 3.5 |
| サッカー | 4 | 3 | 2 | 5 |
| 硬式庭球・男 | 4 | 2 | 2.5 | 1 |
| 硬式庭球・女 | 1.5 | 2 | 2.5 | 1 |
| 合計 | 31 | 33.75 | 35 | 25.25 |

### 表の見方

1、一校1チーム　1位：4点、2位：3点、3位：2点、4位：1点
2、一校2チーム　1位：6点、2位：5点、3位：4点、4位：3点、
5・6位：2点
3、1・8位：一校2チームに進む。9～12位：1点
以上の2点ずつに、5点種目を与え、2点、3位、4位で1点ずつ加算。
1・2位：軟式野球・サッカー・硬式庭球・男子種目の勝点に加え、男子の順位を決定する。

# 学習院大学 有志の活躍

四大学の学生であれば、だれでも出場権が与えられている一般種目。だが本学においても、四大戦に出場できるのはほんの一握り。ここでは、そんな「選ばれた者たち」の活躍を紹介する。

## 一般種目

ドリブル突破でゴールを狙う
一準決勝

果はともかく、互角に戦えたのがよかった」と語った。

なお、女子バスケットボール部員合もに行われた一般種目、「初めての出場で、勝てたのはよかった」と本学は四位に終わった。

# バスケットボール
## Aチーム準優勝

十月十八、十九日の二日間、一般種目の男子バスケットボールの試合が、武蔵大学体育館にて行われた。学習院Aは初戦で敗退してしまったが、学習院Bは二回戦で、強豪成蹊Aと対戦し、終始着実にゴールを決めて大差で勝利。続く成蹊Bとの準決勝でも成蹊大の3ポイントシュートが決まり、39-42と惜しくも準優勝に終わった。本当に勝ちまであと歩だったために、選手達も悔しがろうが、試合終了後満足そうな表情をしていた。

# 学習院大学 有志の活躍

四大学の学生であれば、だれでも出場権が与えられている一般種目。だが本学においても、四大戦に出場できるのはほんの一握り。ここでは、そんな「選ばれた者たち」の活躍を紹介する。

## 一般種目